

コロナ禍で酪農家が生乳を廃棄しなければならない理由

国際酪農連盟ブログから

「新型コロナウイルスの感染拡大によって、世界中で酪農乳業のサプライチェーンに混乱が起きている。残念ながら、レストラン、ホテル、学校などの突然の休業・休止で生じた深刻な需要減少に合わせて生乳生産を減少させるのは困難だ。新型コロナ禍のさなかでも牛乳・乳製品など基礎的食品の需要は強いにもかかわらず、酪農乳業のサプライチェーンは大きな混乱状態にあり、一部の酪農家が生乳を市場に出荷することができないでいる。行き場がないと、酪農家は生乳を廃棄せざるを得ない。こうした酪農家の損失は地球上のどこでも起き得るもので、仕組み上の問題でも、特定の国や地域に特有なわけでもない。それにしても廃棄はなぜ起こるのか？」

国際酪農連盟 (IDF) のロン・メイナード氏 (デーリー・ファーマーズ・オブ・カナダ、IDF 理事、営農担当) とクース・コエッツィ氏 (南アフリカ共和国、IDF 科学・計画調整委員会、農場管理担当) は、IDF 公式ページのブログ¹で、世界の酪農乳業が置かれた状況に理解を求め、分かりやすく解説し、支援を呼び掛けている。ブログの内容とともに、日本での支援の取り組みも併せて紹介する。

大口購入者の需要が減少

平時であれば、レストラン、ホテル、学校などが大量の牛乳・乳製品を購入している。しかしこうした大口購入者は、公衆衛生保護のための政府の措置で速やかに休業・休止しなければならなかったため、一時的ではあるが牛乳・乳製品を必要としなくなった。

乳牛を「止める」ことはできない

こうして需要は一時的に落ち込んでも、牛乳は毎日流通させなければならない。乳牛は毎日搾乳する必要があるからだ。定期的に、搾乳がなされない乾乳期はあるが、乳牛は搾乳が始まると、それを止めることは乳牛に不快感を与え、乳房の感染症にもつながる。

酪農家は、何らかの加工なしには大量の生乳を保管することなどできないから、乳業者は処理能力を上回る量の牛乳を抱えている。また酪農家も、余った分は、捨てるよりほかに何もやれることはない。

酪農家は乳牛自身が乳を出すのを「止める」

ことはできないが、乳牛の早期乾乳、濃縮飼料の1日当たり給餌量削減、低産乳牛の淘汰など、生乳生産を減らす方策はある。こうした、生乳生産を短期的に減らす方策は、長期的には家畜の健康や生乳生産、新型コロナ終息後の需要の回復についていけるか、といった点に大きく響いてくることもありえる。

非常に少ない選択肢

他の農産品とは異なり、牛乳・乳製品、特に新鮮な牛乳は非常に腐敗しやすいことから、酪農乳業は新型コロナで特に大きな打撃を受けた。生乳は肉のように冷凍したり、穀物のようにサイロに入れておいたりすることはできない。消費者が小売店で購入する数量は、外食で必要とされる卸売の数量とは本来は別扱いになっている。用途先を変更すればすぐうまくいくわけでもない。加工工場は、製品のタイプや、特定されたサイズ・数量に合わせて製造ラインが整備されているので、例えば、家庭向けバターは、そのサイズによってはレストラ

ンで使われるバターと同じ設備では製造されていないので、急に消費が伸びても生産が対応できない場合がある。

新型コロナの影響は国により異なる

生乳生産は北半球の国々ではピークを迎える季節だが、他方、南半球の国々では最も低くなる季節だ。レストランやホテルなどでの売り上げ減少の影響の度合いは、大口購入者が全体の中で占めるシェアによるところが大きい。家庭以外で摂る食事の習慣は国によって異なる。従って、新型コロナによる都市封鎖の影響は国によって異なる。乳業会社もそれぞれ、余剰乳をチーズ、バター、粉乳など保存期限の長い製品に加工する能力、より長い保存期間の超高温殺菌(UHT)牛乳に加工する能力が異なっている。

支援のためにできることは？

- 消費者が、栄養価の高い牛乳・乳製品を購入することが酪農家の応援になる。チーズやバターも。
- 地元のフードバンクや弱い立場の人々への牛乳・乳製品の寄付。
- 酪農家を批判しないで。危機は予期できないものであり、起こっている混乱は酪農家のせいではない。私たちは皆、社会に不可欠なサービスを提供しつつ、この状況に対処するために最善を尽くしている。

わが国の取り組み

日本でも、外出自粛を受けた巣ごもり消費で家庭での消費が伸びる一方で、学校給食や外食産業などでの消費が大きく減少し、処理不可能乳の発生が懸念されている。生乳の廃棄といった危機を回避する目的で、農林水産省によって酪農家を支えるため、牛乳やヨ

ーグルトを普段より 1 本多く消費することを推進する「プラスワンプロジェクト」が 2020 年 4 月 21 日に始まった²。また、Jミルクは同省などの支援や酪農乳業関係団体の協力を得て、児童福祉施設やフードバンク、高齢者施設などへの牛乳の無償提供の取り組みを実施する³。

出典:

1. <https://www.fil-idf.org/the-challenge-of-balancing-milk-supply-in-times-of-crisis-why-some-farmers-have-to-discard-raw-milk-during-the-covid-19-pandemic/> The challenge of balancing milk supply in times of crisis: Why some farmers have to discard raw milk during the COVID-19 pandemic. Ron Maynard & Koos Coetzee. International Dairy Federation(2020年5月13日閲覧)
2. <https://www.maff.go.jp/j/press/seisan/cgyunyu/200421.html> 日本の牛乳を救う「プラスワンプロジェクト」緊急スタート！農林水産省(2020年5月13日閲覧)
3. <https://www.agrinews.co.jp/p50780.html> 牛乳無償提供を支援 医療や福祉向けに農水省 日本農業新聞(2020年5月13日閲覧)

(Jミルク 国際グループ 新 光一郎)